

「なぜ」を深める 科学的思考文化の進化 (令和元年度重点努力目標)

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に選ばれました。「なぜ」を深める科学的思考文化の進化を令和元年度の重点努力目標として教育活動を行っています。

SSH科学体験研修 報告

SSH事業の一環として、この夏、関東・関西方面へ科学体験研修に行ってきました。先進的な科学技術研究を行う大学や施設等を訪問し、講義や体験活動を通じて科学技術への関心が高まりました。

■ 関東研修 8月5日(月)～7日(水)



主な研修場所：国立科学博物館・宇宙航空研究開発機構 (JAXA)・国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS)・日本製鉄鹿島製鉄所・東京大学柏・本郷キャンパス

●感想 研修を通して、日本を支える各分野の最先端の科学技術を詳しく見ることができました。今まで気が付かなかったところにも、科学技術が用いられており、日本の技術力の高さを改めて感じました。また、多くの専門家の先生方に詳しく説明をしていただき、今後の学習に活かせる知識を得ることができました。科学に対してより一層興味を持つようになり、大変有意義な研修となりました。

■ 関西研修 8月6日(火)～8日(木)



主な研修場所：阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター・理化学研究所(計算科学研究センター)・SSH生徒研究発表会・大阪大学(太陽エネルギー化学研究センター)・野島断層保存館



京都大学 サイエンスキャンプ



8月24日(土)・25日(日)の2日間、西条市地域創生センター・西条市千町(棚田付近)を会場に、京都大学森里海教育研究ユニット主催のサイエンスキャンプがありました。1日目は、京都大学地球環境学堂の西前出先生による「京都大学 森里海連環学の紹介」、浅野悟史先生による「ドローンの基礎と航空写真の処理」、時任美乃理先生の「地域資源計画とは？地域の見方・将来を描く」についてお話を聞きました。午後は、棚田の広がる西条市千町へ移動し、GPSデータ収集およびドローンによる測量、地域のフィールドワークを行いました。夜のミーティングでは、翌日の発表に向けて2チームに分かれてまとめをしたり、測量結果の解析をしました。2日目は、午前中昨日に引き続き現地調査をしました。午後からは、住民の方に集会場に集まっていただき、「調査から得た知見で千町の未来を描く」をテーマに調査内容を発表しました。地域の方を交えた発表会で、高校生としてできること、これからについて考えさせられました。閉校式では、修了証をいただき、大変充実した2日間でした。

女子中高生のための工業都市東予・夏の学校



8月19日(月)新居浜工業高等専門学校にて「女子中高生のための工業都市東予・夏の学校」が開催されました。

この催しは、中国・四国地方の地元企業で活躍する自分の近未来の姿をイメージする一助とすることを目的に企画されたものです。様々な体験等を通して、理系分野への進路を考える良い機会になりました。開かれた講座は次の通りです。

- 講座1「科捜研の女」によるミニ現場検証体験
愛媛県警察本部 主任研究員 大野貴代氏
- 講座2「食を食べることを支えます！栄養士の世界へようこそ」
高知県立大学 健康栄養学部 講師 島田郁子氏
- 講座3「羽ばたけ、未来型の薬剤師」
徳島文理大学 香川薬学部 教授 山田麻紀氏
- 講座4「男女共同参画時代の工学」
株式会社三好鉄工所 総務部 次長 白川剛朗氏